



# 第12回NICT/EMC-net シンポジウム

～ 日常生活への普及が進むワイヤレス電力伝送 ～

今日の情報社会では、あらゆる電気・電子機器が通信機能を持つようになるため、身の回りの小型無線機器や電子機器、家電製品、電磁エネルギー利用などに対する「安全・安心」の確保に必要なEMC技術が非常に重要な課題になります。

このような状況を背景として、国立研究開発法人・情報通信研究機構(NICT)では2006年秋に産学官連携組織NICT/EMC-net を立ち上げました。おかげさまで延べ500余名のEMC技術者が参加し、EMCの様々な課題について、研究会などを通じた情報交換や意見交換、さらに会員参加の巡回測定などを実施しております。今回のシンポジウムでは、電気自動車の充電用のみならず、携帯端末や家電製品など、日常生活への普及が進みつつある、ワイヤレス電力伝送の話題について、各界の専門家に御講演を頂くとともに、各研究会の一年間の活動を報告し、今後の事業について幅広くご議論頂きたいと考えております。

主 催： 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)  
期 日： 2018年2月23日 金曜日 14:00～17:00  
会 場： ベルサール八重洲 (電話：03-3548-3770)  
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2F  
(会場へのアクセスは次頁をご参照ください)  
参加費： 無料  
参加申込み： 参加申込書にご記入のうえ、EメールもしくはFAXにてお送りください。  
(参加申込書は <http://emc.nict.go.jp/emc-net/index.html> よりダウンロードできます。)  
申込締切り： 2月14日 水曜日必着

※お申込みいただいた方には後日、参加票を郵送いたします。(2月初旬より順次発送) 当日お越しの際に受付にお持ちください。なお、定員になり次第、参加受付を締め切らせていただきます。

## <プログラム> (敬称略)

14:00 開会挨拶 細川 瑞彦 (NICT 理事)

### 基調講演

14:10～14:50 「ワイヤレス給電の研究現状と標準化現状」  
篠原 真毅 (京都大学 生存圏研究所 生存圏電波応用分野 教授)

### 講演

14:50～15:30 「無線電力伝送機能を有するマルチメディア機器のエミッションと  
国際標準化に向けた検討課題」  
雨宮 不二雄 (NTT アドバンステクノロジー株式会社  
グローバル事業本部 環境ビジネスユニット EMC センタ)

～休憩～

### EMC-net 活動報告

16:00～16:15 EMC測定法研究会  
(幹事) 石上 忍 (東北学院大学 工学部情報基盤工学科 教授、  
NICT特別研究員)  
16:15～16:30 EMC校正法研究会  
(主任) 藤井 勝巳 (NICT 電磁波研究所 電磁環境研究室 研究マネージャー)  
16:30～16:45 人体の電磁界ばく露評価研究会  
(主任) 多氣 昌生 (首都大学東京 理工学研究科電気電子工学専攻 教授、  
NICT統括特別研究員)  
16:50 閉会挨拶 平 和昌 (NICT 電磁波研究所 所長)

## ■会場（ベルサール八重洲）へのアクセス



〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2F  
電話：03-3548-3770

### 最寄り駅

「日本橋駅」 A7出口直結（東西線・銀座線・浅草線）

「東京駅」八重洲北口徒歩5分（JR線・丸の内線）

## ■参加申込みに関するお問い合わせ

国立研究開発法人 情報通信研究機構

電磁波研究所 電磁環境研究室

EMC-net事務局

松本 泰、兼平 忍

Tel: 042-327-7446 Fax: 042-327-7537

メール: [info-emcnet@nict.go.jp](mailto:info-emcnet@nict.go.jp)